

令和7年度 神代中学校 技術科 3学年 年間指導計画・評価計画

1. 教科目標

- (1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換および情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする力を養う。

2. 評価の観点及びその趣旨

【知識・技能】

生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換および情報の技術についての基礎的な理解と技能、技術と生活や社会との関わりについて理解している。

【思考・判断・表現】

生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする力を身に付けている。

3. 3学年の目標

- ①情報に関わる基礎的な理解と技能を身に付ける。
- ②情報技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。
- ③主体的に課題を見つけ、新しい考え方やとらえ方によって解決策を構想しようすることができる。

4. 指導計画・評価計画表

		観点・評価規準			評価資料
月	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	【情報の技術】(17時間) ・情報の技術とは ・安全に利用するための情報モラル ・システムの構想、プログラム製作(2時間) ・プログラム製作(2時間) ・情報の技術の最適化 ・双方向性のあるコンテンツとは ・コンテンツの構想(2時間) ・プログラム製作(3時間) ・問題解決の評価、改善 ・これからの情報の技術(2時間)	・情報モラルやプログラミングについての基礎的な知識や必要性を理解している。 ・コンピュータの構造やプログラミングなどの基礎的な仕組みを理解している。 ・安全適切な情報機器の活用ができる技能が身に付いている。	・情報に込められた工夫を読み取ることができる。 ・情報技術の見方・考え方に気づくことができる。 ・情報技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を解決できる力が身に付いている。	・進んで情報技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。	・授業に対する取り組み ・プリント ・提出物 ・プログラミングチェック ・定期テスト